

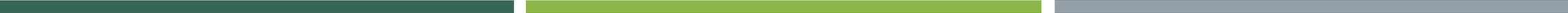
令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金

都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の機能評価指標に関する調査

調査結果のまとめ（詳細）

調査項目

1. 診療体制
2. 診療実績
3. 研修の実施体制（人材育成）
4. 情報提供体制
5. 臨床研究および調査研究
6. 行政との連携



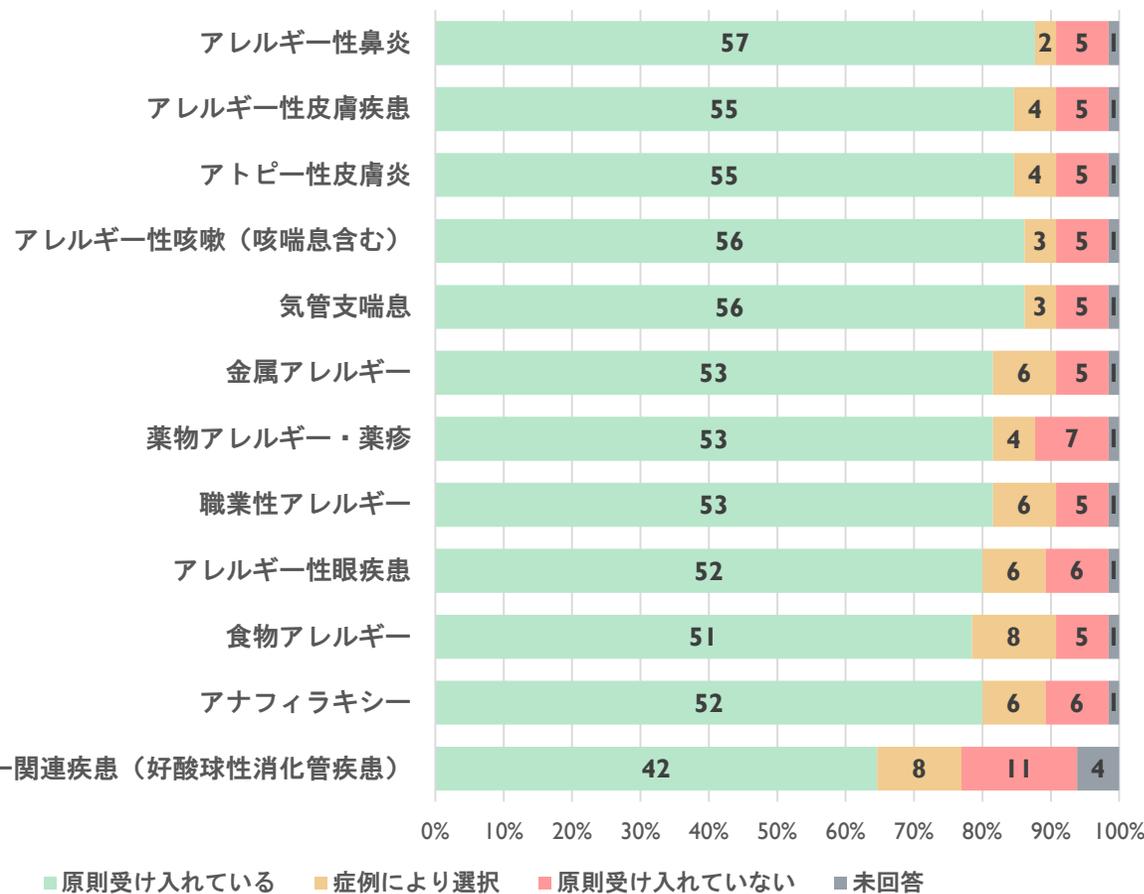
1. 診療体制



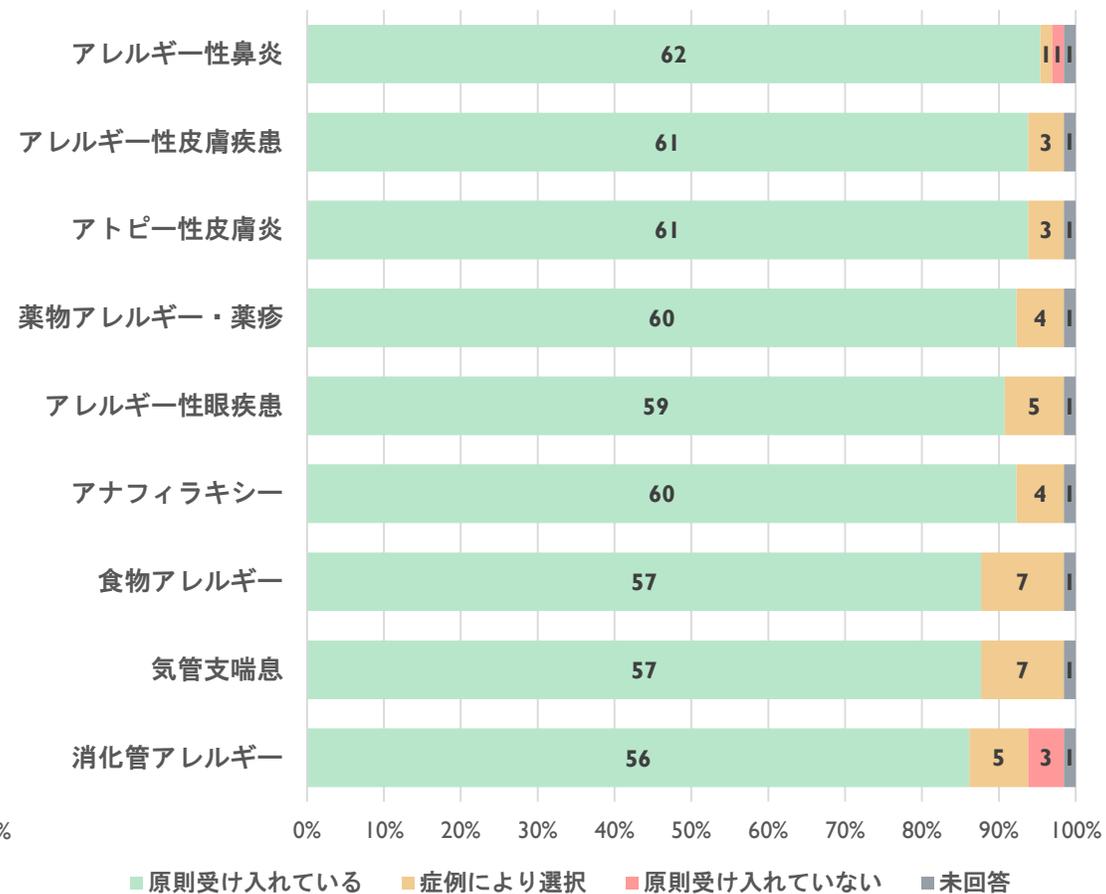
1. 診療体制（1）診療機能

ア. 地域の医療機関から紹介されたアレルギー疾患患者の受け入れを行っているか？

成人

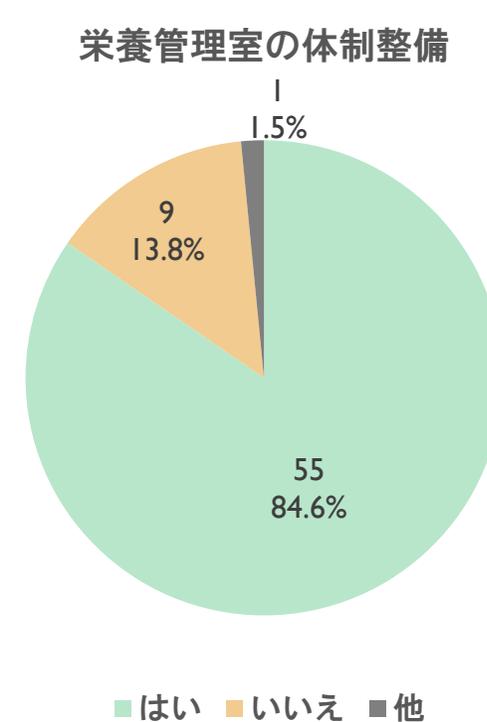
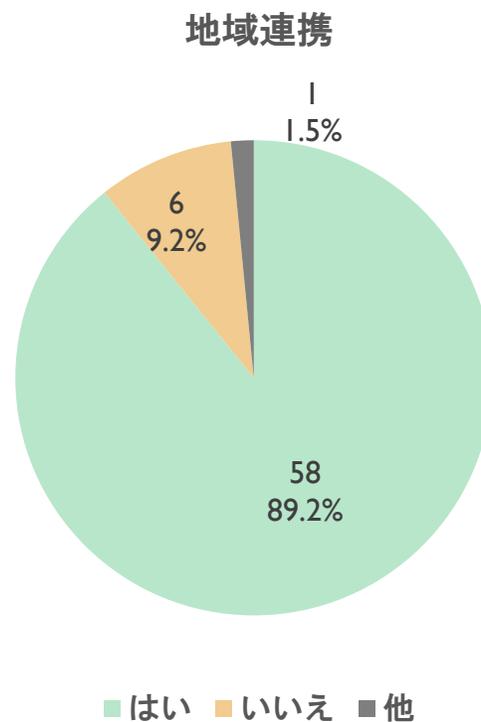
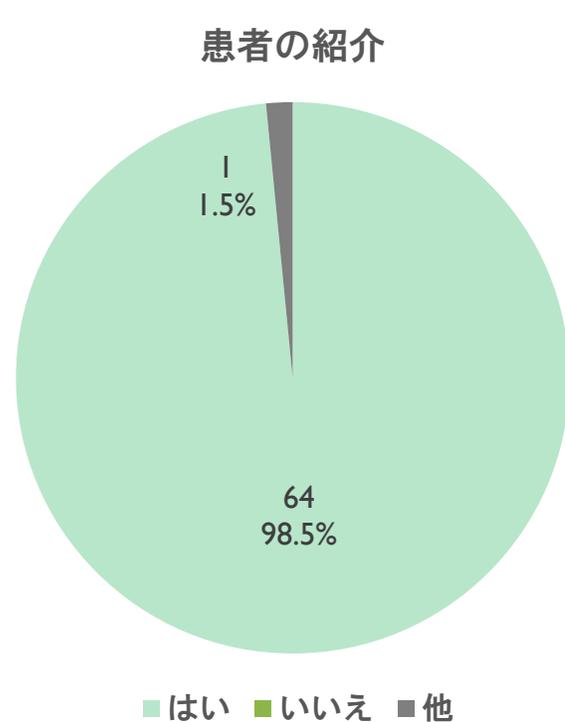


小児



1. 診療体制（1）診療機能

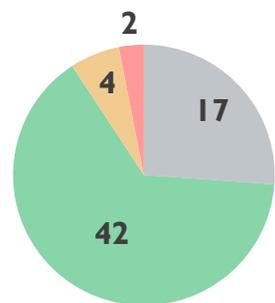
- イ. アレルギー疾患患者の状態に応じ、地域の医療機関へアレルギー疾患患者の紹介を行っているか？
- ウ. アレルギー疾患に関する相談など、地域の医療機関の医師と診断及び治療に関する相互的な連携協力体制・教育体制が整備されているか？
- エ. 栄養管理室の食物アレルギー対応ができる体制（食物経口負荷試験食の提供・栄養食事指導の実施 など）を整備しているか？



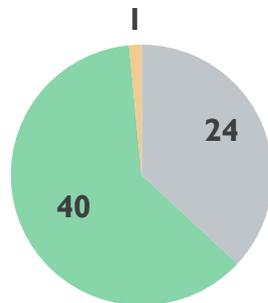
1. 診療体制（2）診療従事者 ①専門的な知識及び技能を有する医師の配置

ア. 日本アレルギー学会の専門医・指導医の医師は何名配置されているか？

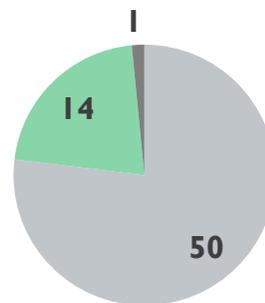
内科・常勤・専門医



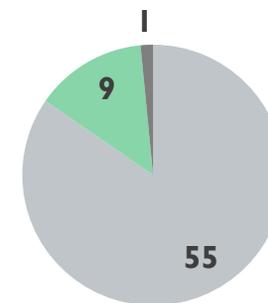
内科・常勤・指導医



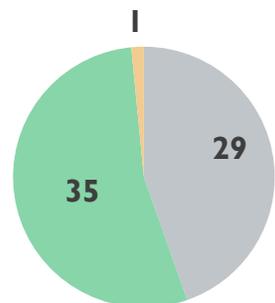
内科・非常勤・専門医



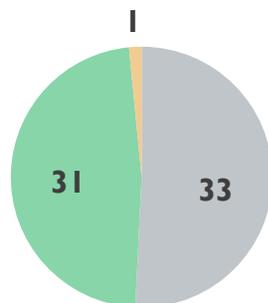
内科・非常勤・指導医



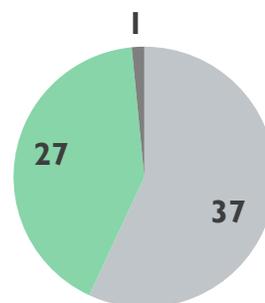
小児科・常勤・専門医



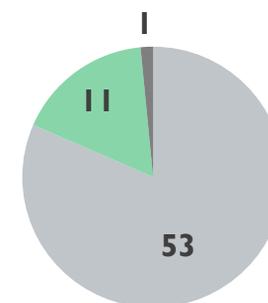
小児科・常勤・指導医



小児科・非常勤・専門医



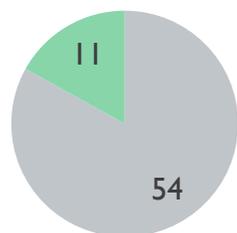
小児科・非常勤・指導医



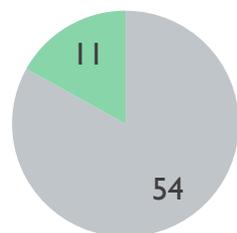
■ 0人 ■ 1-5人 ■ 6-10人 ■ > 10人 ■ 未回答

1. 診療体制（2）診療従事者 ①専門的な知識及び技能を有する医師の配置

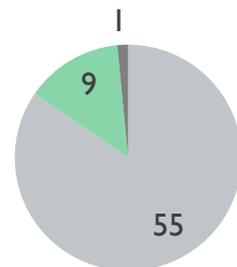
耳鼻咽喉科・常勤・専門医



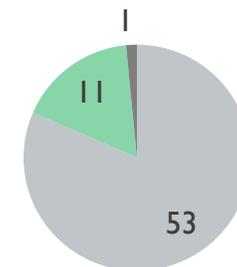
耳鼻咽喉科・常勤・指導医



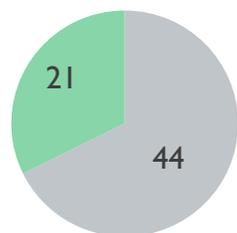
耳鼻咽喉科・非常勤・専門医



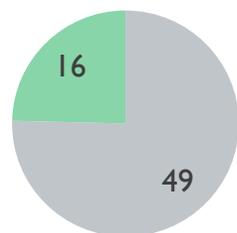
耳鼻咽喉科・非常勤・指導医



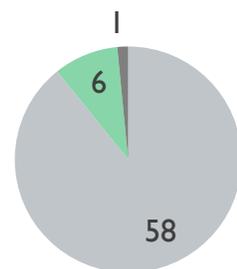
皮膚科・常勤・専門医



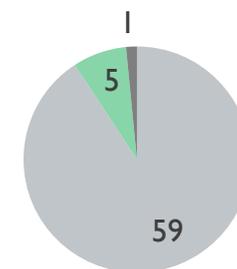
皮膚科・常勤・指導医



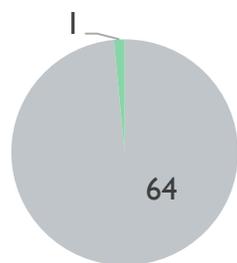
皮膚科・非常勤・専門医



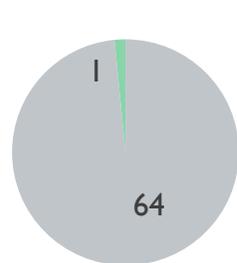
皮膚科・非常勤・指導医



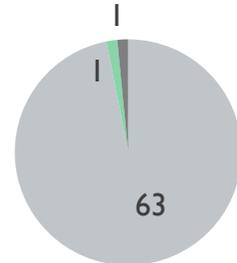
眼科・常勤・専門医



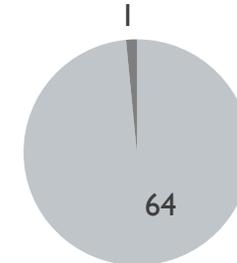
眼科・常勤・指導医



眼科・非常勤・専門医



眼科・非常勤・指導医

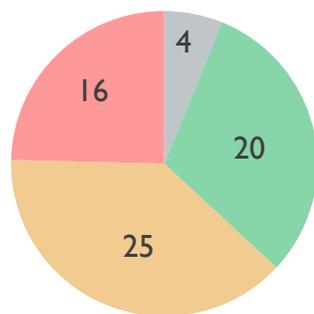


■ 0人 ■ 1-5人 ■ 6-10人 ■ > 10人 ■ 未回答

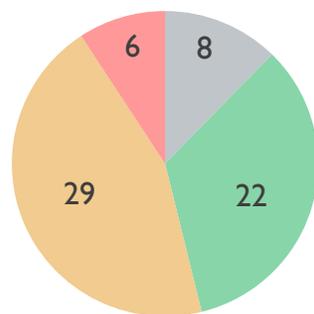
1. 診療体制（2）診療従事者 ①専門的な知識及び技能を有する医師の配置

イ. 以下の科の基本領域の専門医である医師は何名配置されているか？

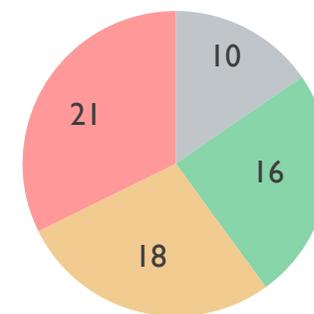
常勤・耳鼻咽喉科専門医



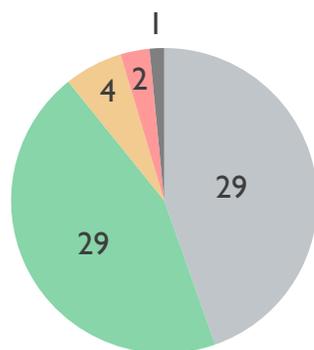
常勤・皮膚科専門医



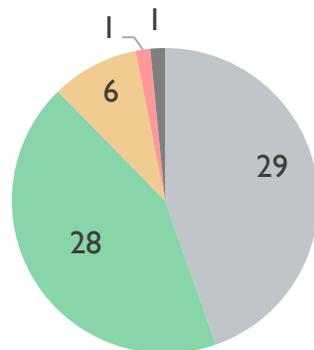
常勤・眼科専門医



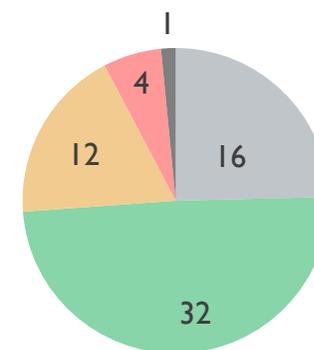
非常勤・耳鼻咽喉科専門医



非常勤・皮膚科専門医



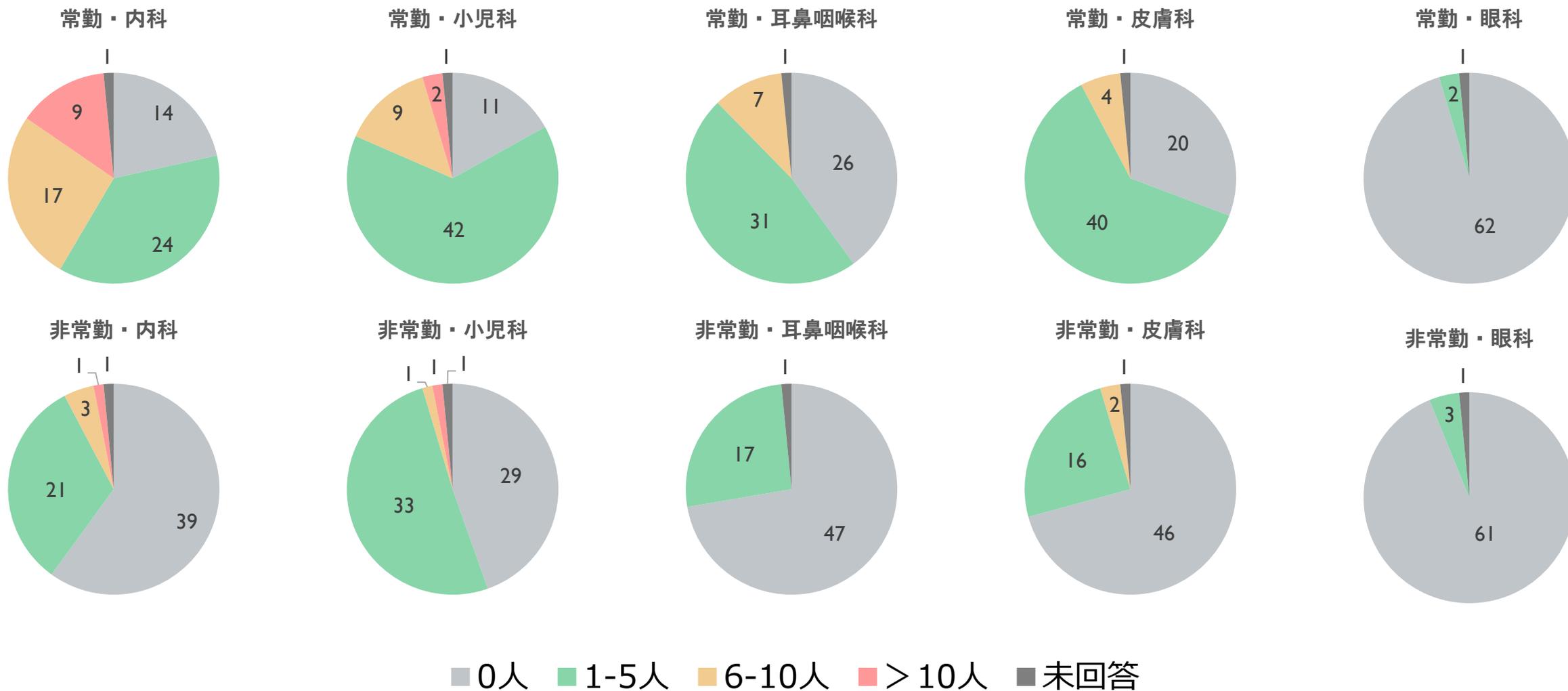
非常勤・眼科専門医



■ 0人 ■ 1-5人 ■ 6-10人 ■ > 10人 ■ 未回答

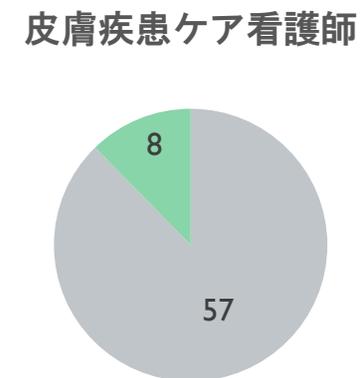
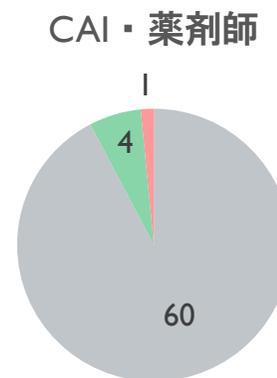
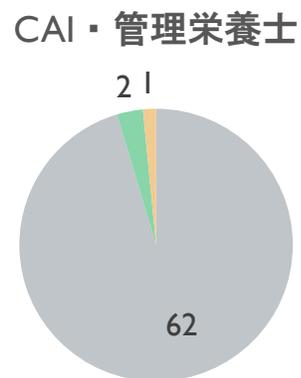
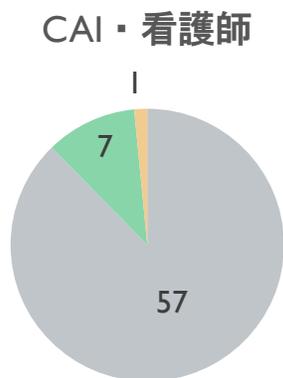
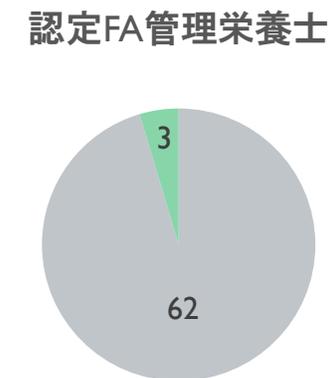
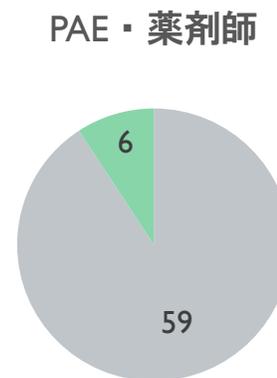
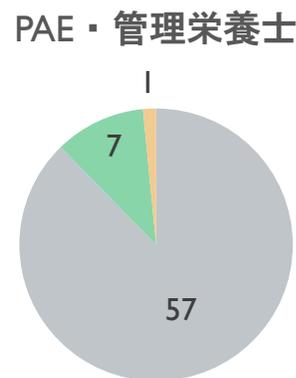
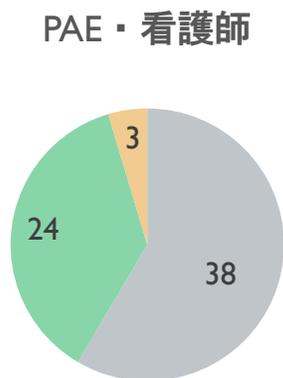
(2) 診療従事者 ①専門的な知識及び技能を有する医師の配置

ウ. 日本アレルギー学会会員である医師が何名配置されているか？

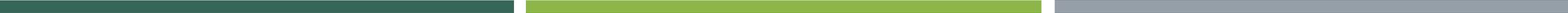


(2) 診療従事者 ①専門的な知識及び技能を有する医師の配置

- ア. 小児アレルギーエデュケーター（PAE）は何名いるか？
- イ. アレルギー疾患療養指導士（CAI）は何名いるか？
- ウ. 日本栄養士会認定の食物アレルギー管理栄養士は何名いるか？
- エ. 日本皮膚科学会認定の皮膚疾患ケア看護師は何名いるか？



■ 0人 ■ 1-5人 ■ 6-10人 ■ > 10人 ■ 未回答



2. 診療実績

2019年1月～12月における診療実績

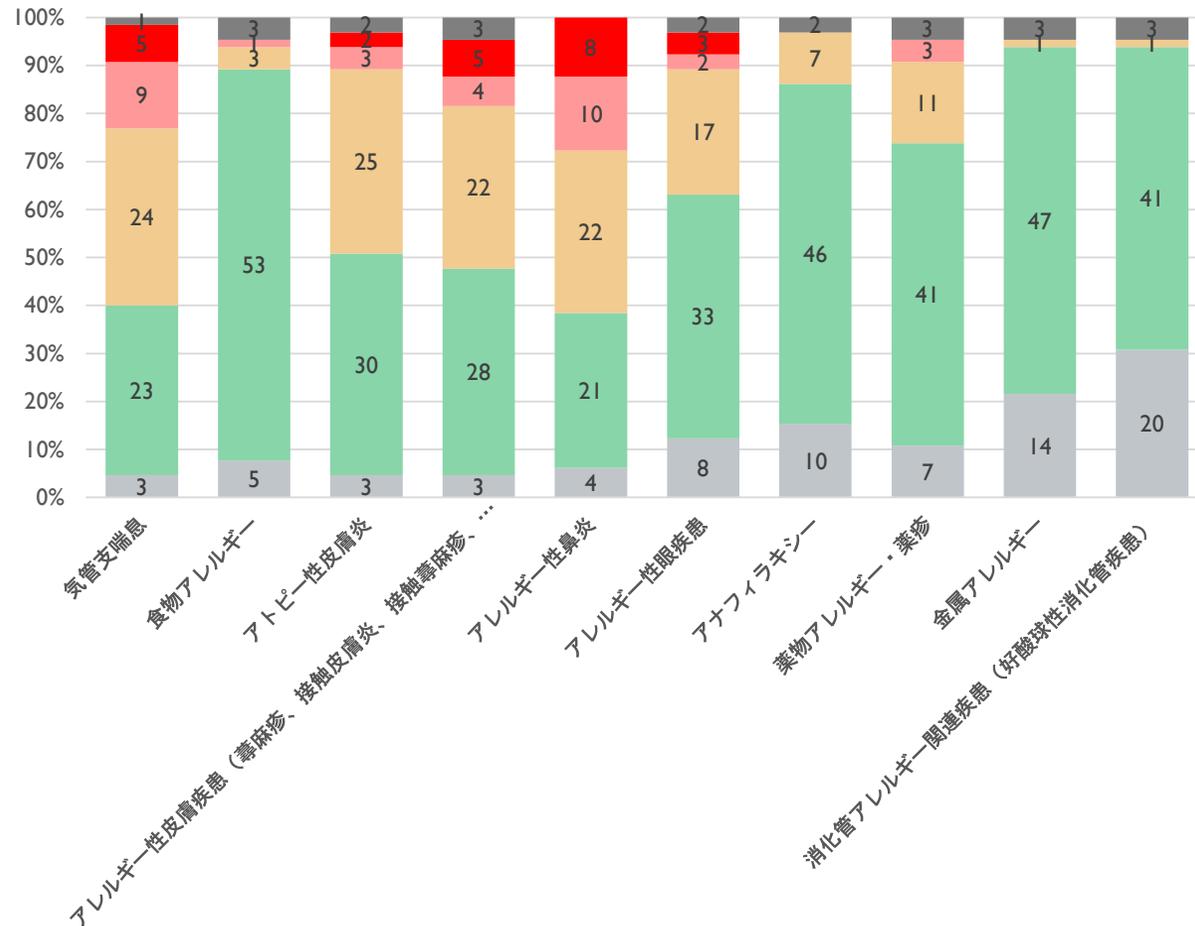


2. 診療実績（1）治療実績

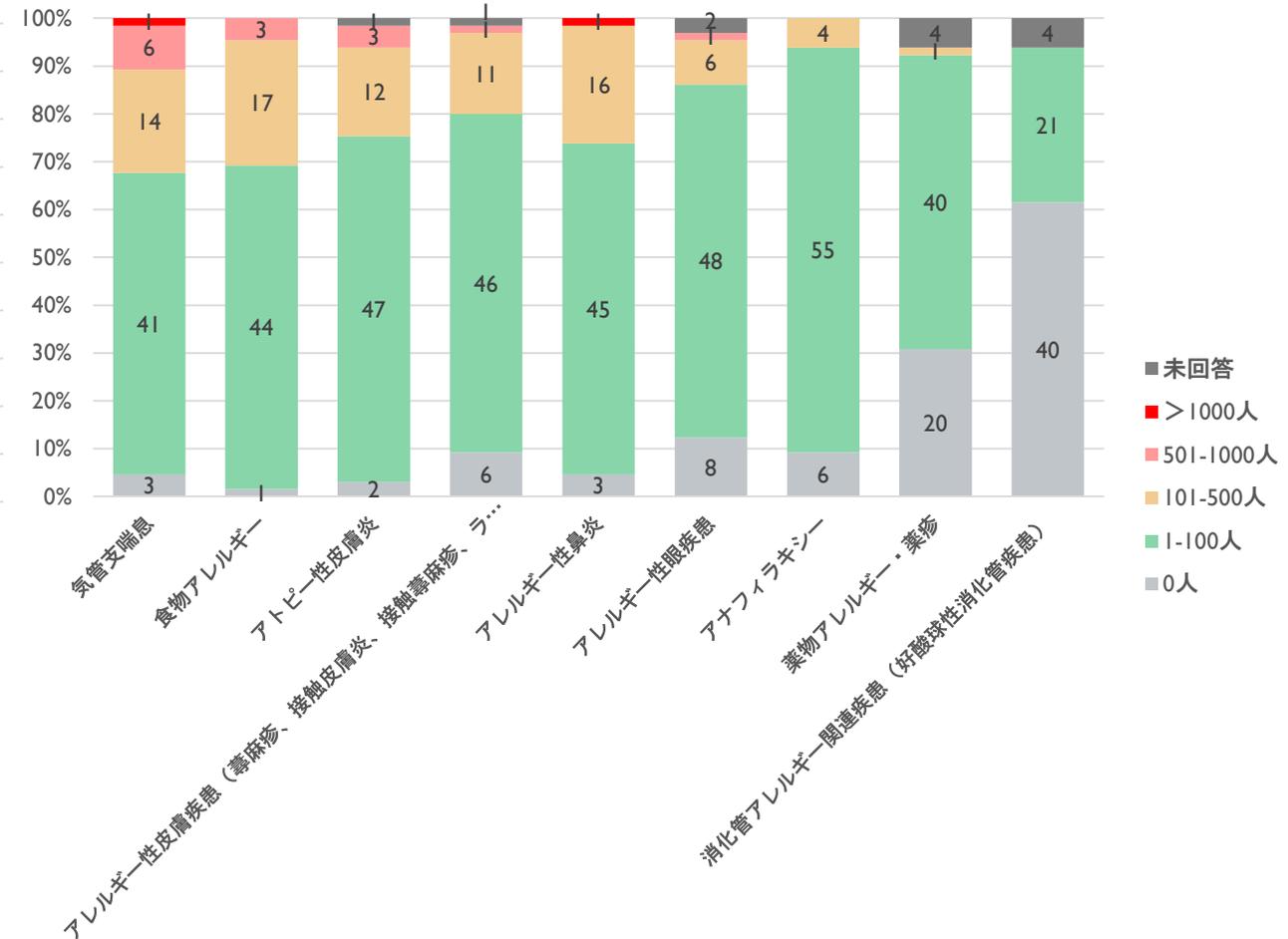
（2019年1月～12月）

ア. 紹介受入れ患者数

紹介患者数・成人



紹介患者数・小児

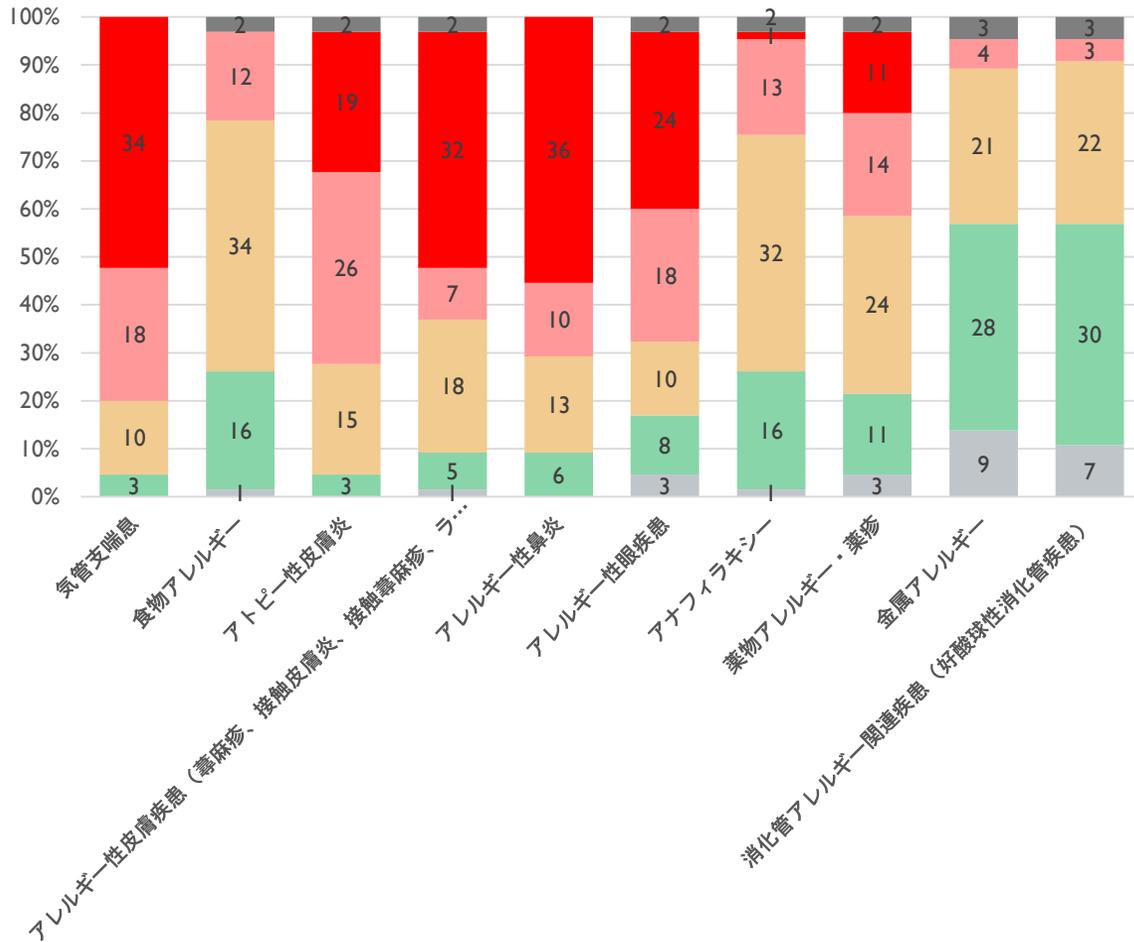


2. 診療実績（1）治療実績

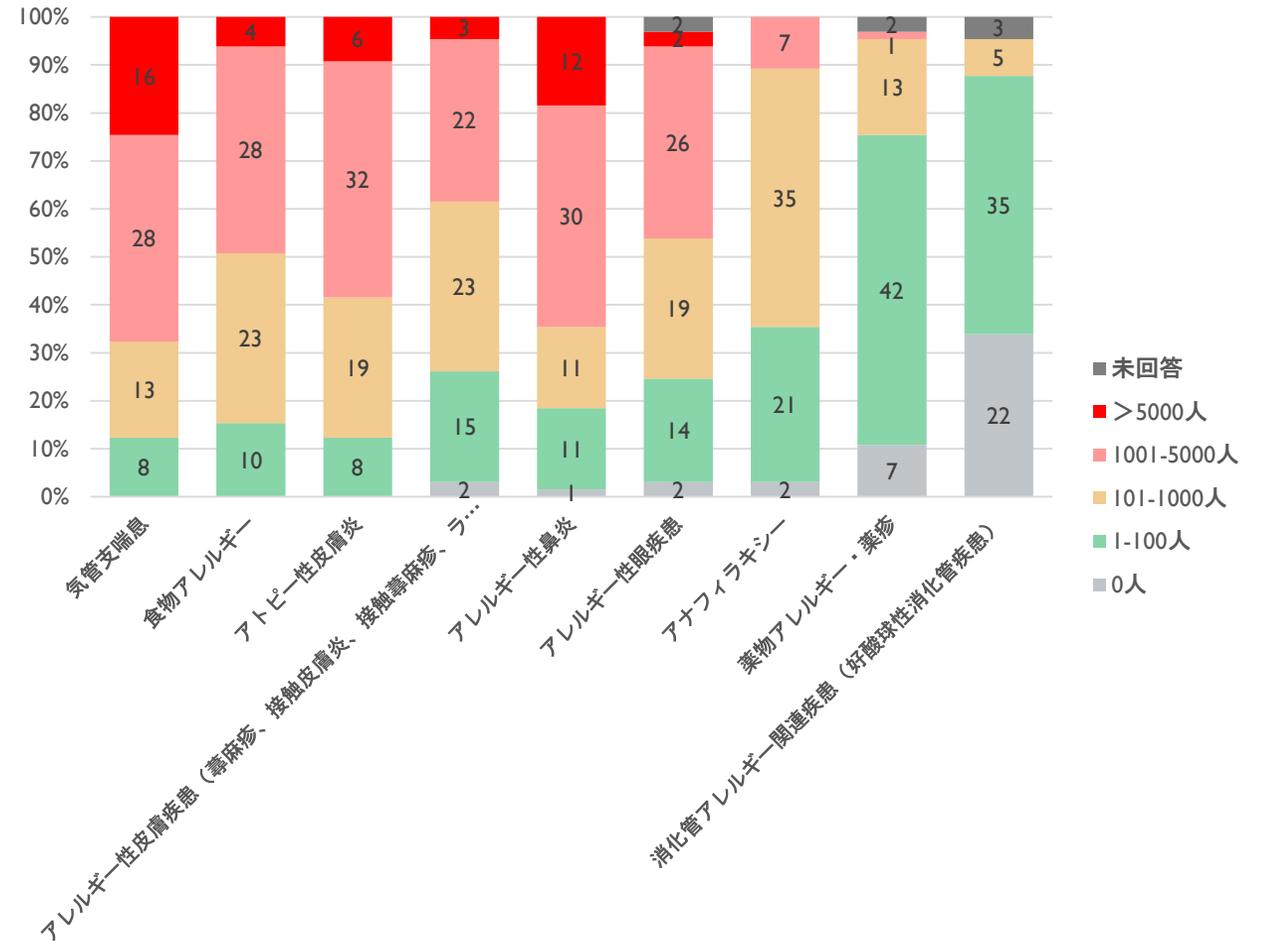
（2019年1月～12月）

イ. 外来のべ受診患者数：一人の患者が複数回外来を受診した場合は受診した回数分計上してください。

外来患者数・成人



外来患者数・小児



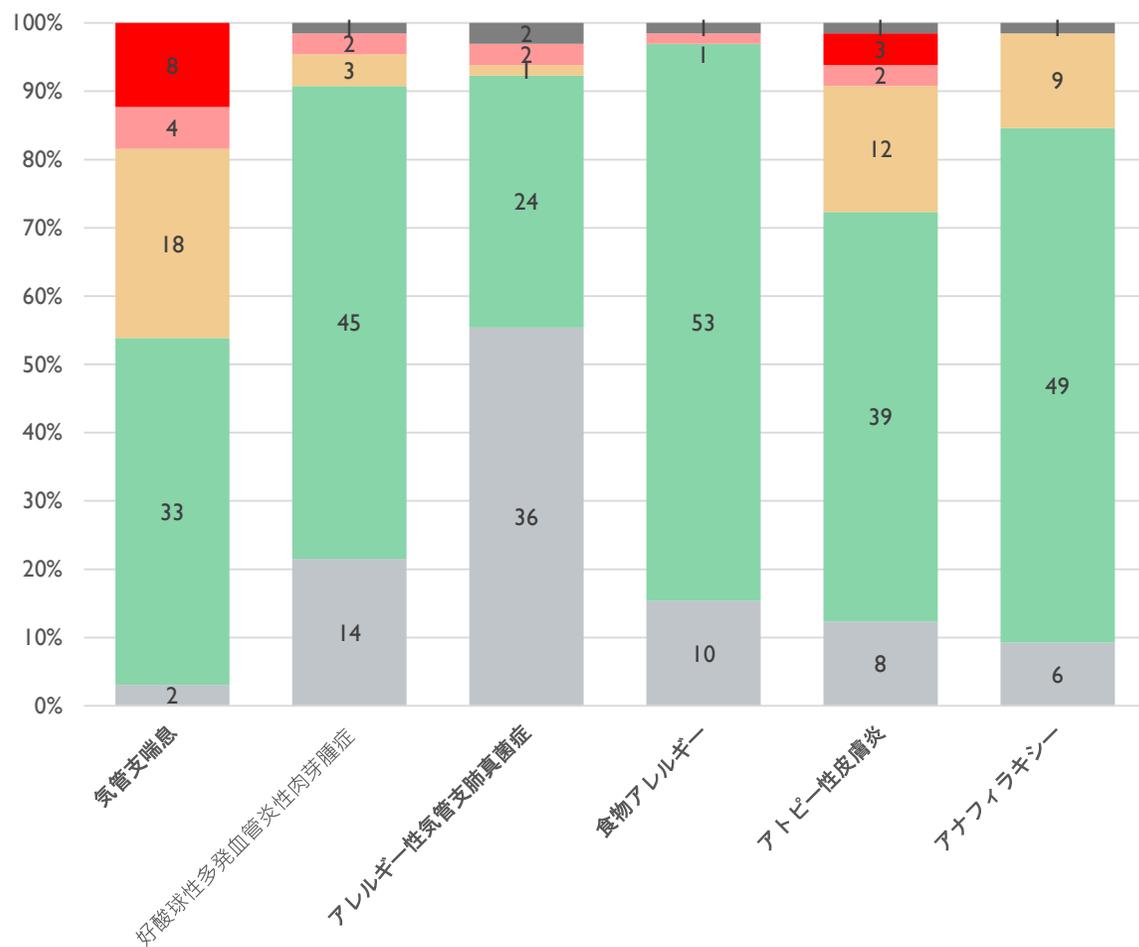
■ 未回答
 ■ >5000人
 ■ 1001-5000人
 ■ 101-1000人
 ■ 1-100人
 ■ 0人

2. 診療実績（1）治療実績

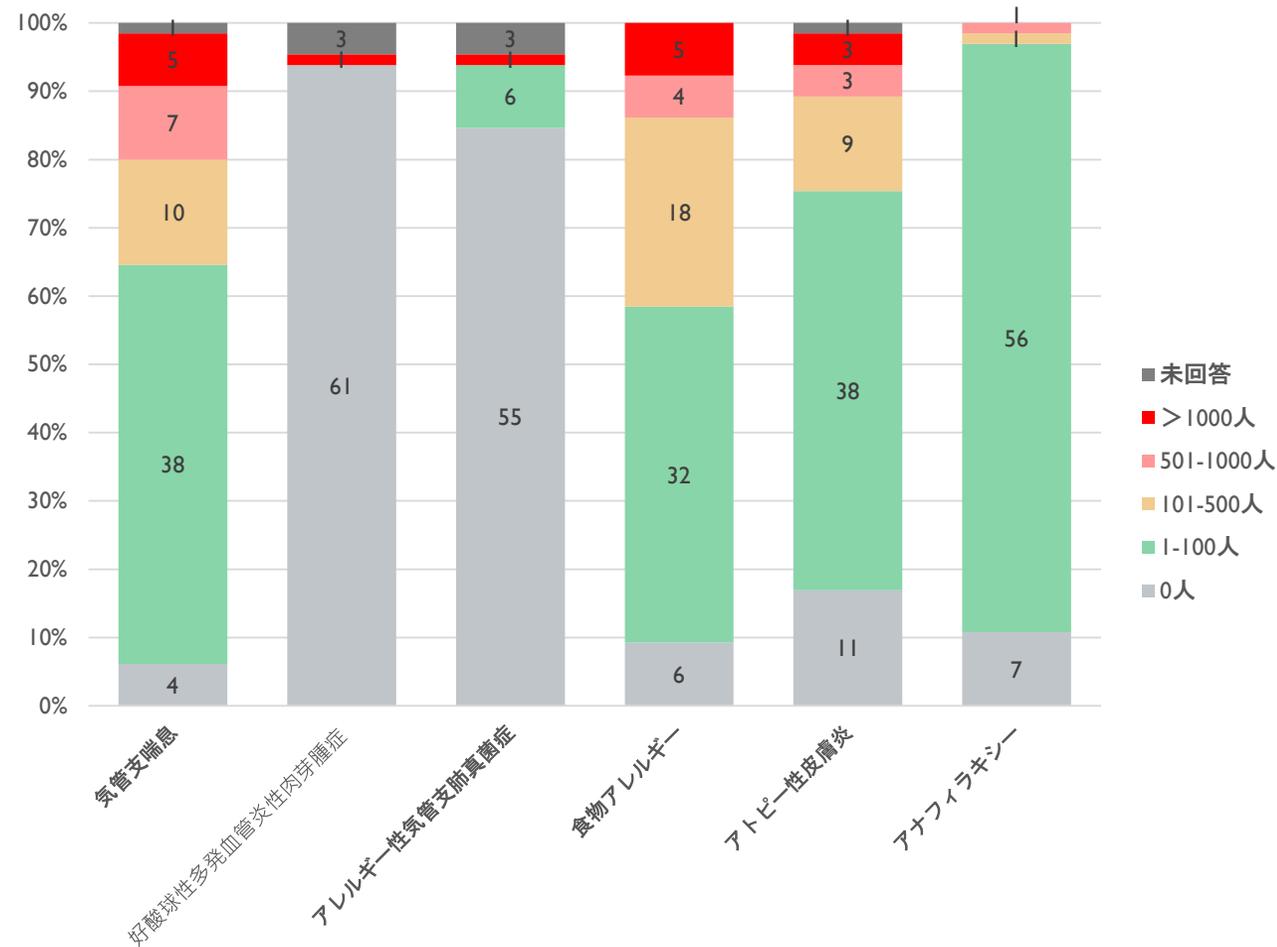
（2019年1月～12月）

ウ. 入院のべ患者数：一人の患者が複数回入院した場合は入院した回数分計上してください。

入院患者数・成人



入院患者数・小児



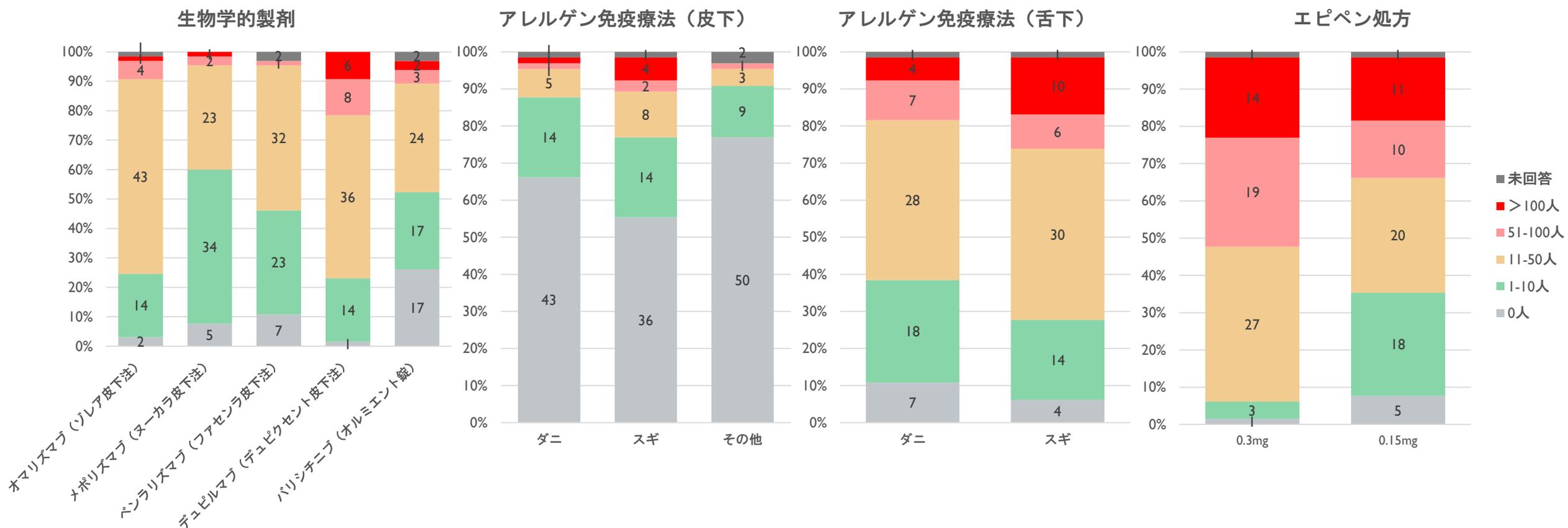
■ 未回答
 ■ >1000人
 ■ 501-1000人
 ■ 101-500人
 ■ 1-100人
 ■ 0人

2. 診療実績（1）治療実績

（2019年1月～12月）

- 工. 生物学的製剤および分子標的薬
- オ. アレルゲン免疫療法（皮下）実施患者数
- カ. アレルゲン免疫療法（舌下）実施数
- キ. エピペン処方患者数

（のべ人数ではなく、実施している患者数）

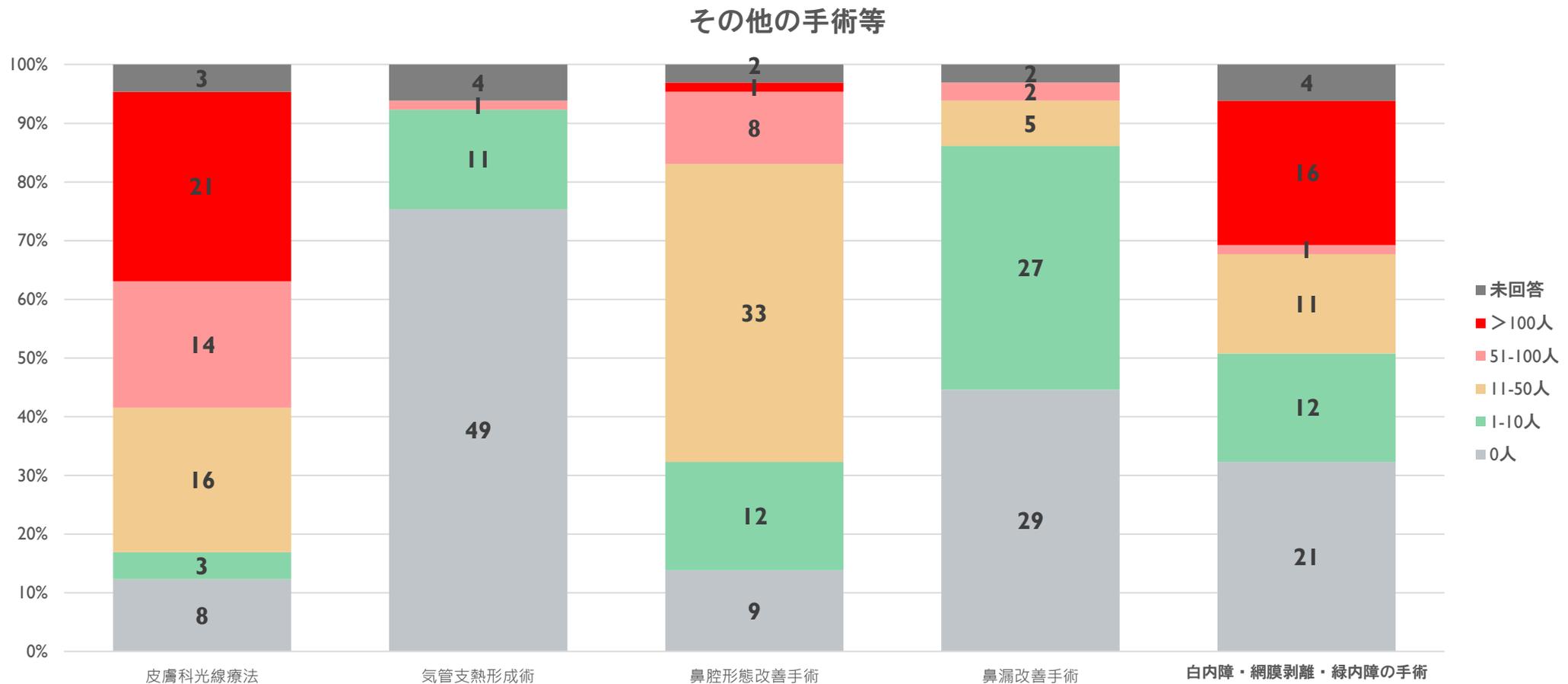


2. 診療実績（1）治療実績

（2019年1月～12月）

ク. 皮膚科光線療法
 ケ. 気管支熱形成術
 コ. 鼻腔形態改善手術

サ. 鼻漏改善手術
 シ. アレルギー性眼疾患に関連した白内障・網膜剥離・緑内障の手術
 （のべ人数ではなく、実施している患者数）

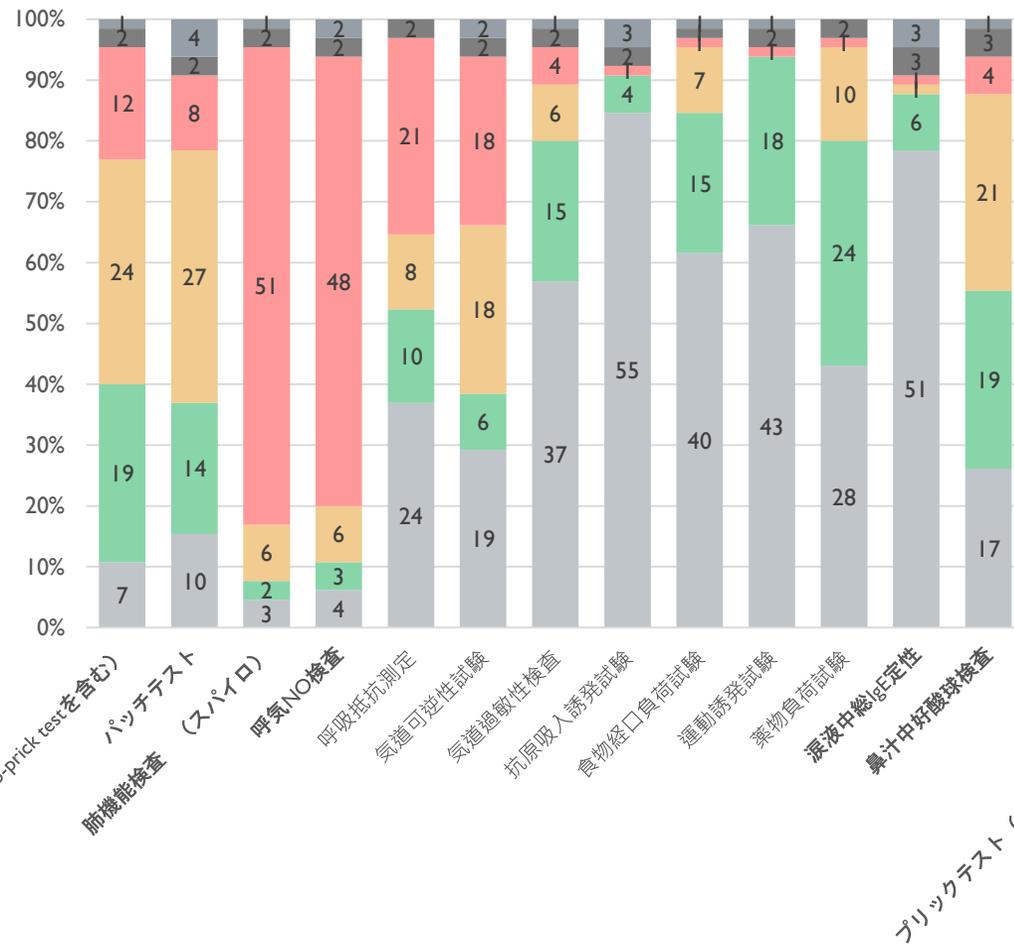


2. 診療実績（2）検査実績

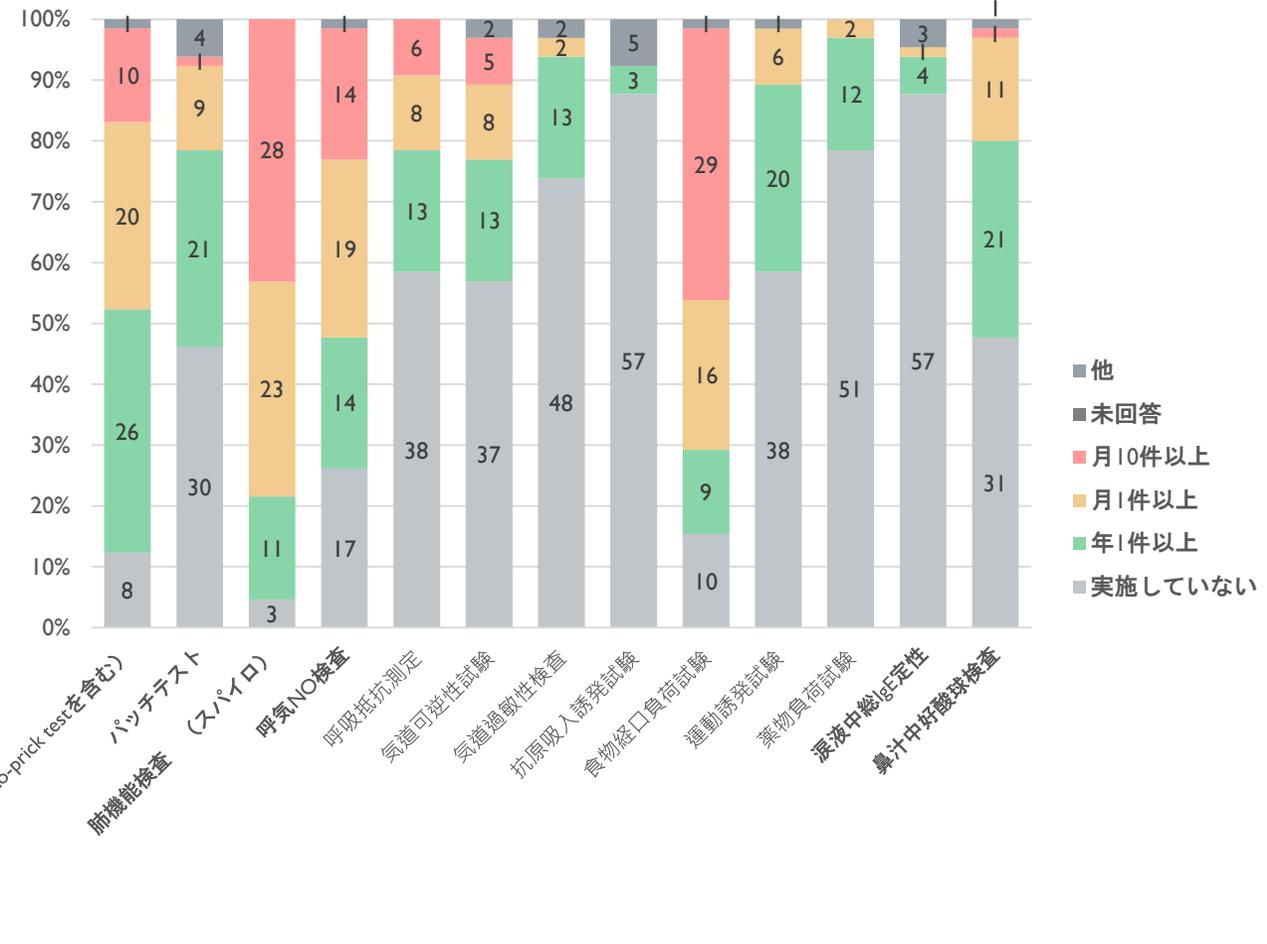
（2019年1月～12月）

ア. 以下の検査について当てはまる概数をご回答ください。

検査実績（概数）・成人



検査実績（概数）・小児





3. 研修の実施体制（人材育成）

2019年度～2021年度の状況

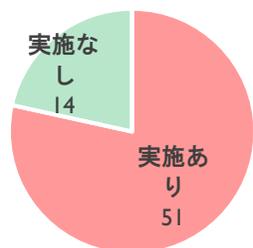


3. 研修の実施体制（人材育成）

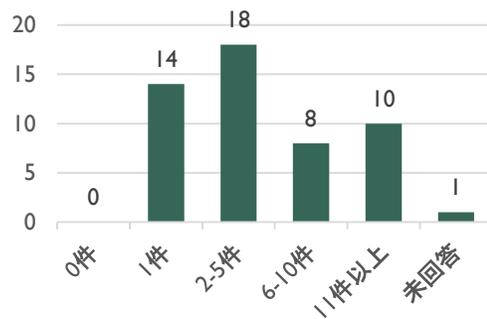
（2019年度～2021年度）

- ア. アレルギー疾患医療に携わる医療従事者の知識や技能の向上のために講演会（WEB上のオンライン講習会を含める）や研修を拠点病院の事業として実施しているか？
- イ. 保健師、栄養士や学校、社会福祉施設等の教職員等に対するアレルギーに関する講演会（WEB上のオンライン講習会を含める）や研修を拠点病院の事業として実施しているか？
- ウ. 上記ア.イ.を実施するにあたり都道府県からの予算は配分されているか？

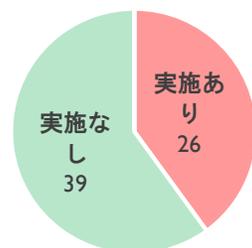
医療従事者 講演会



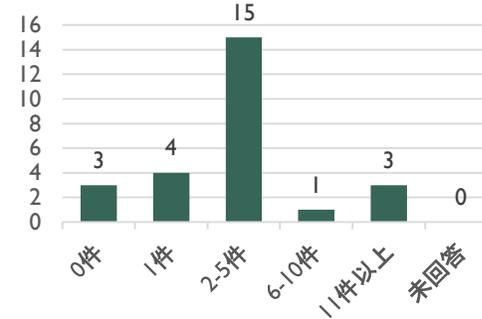
医療従事者 講演会



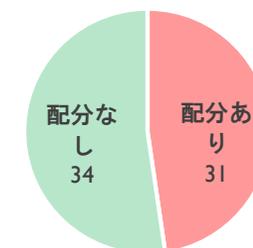
医療従事者 研修



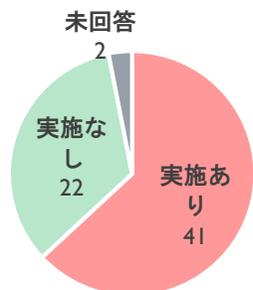
医療従事者 研修



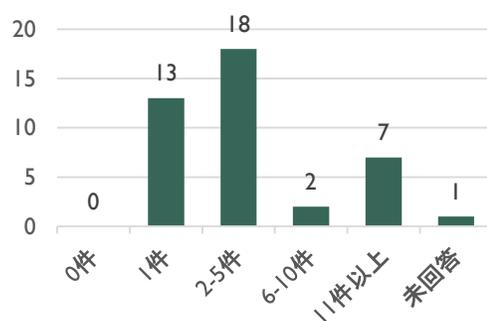
予算配分



教職員等 講演会



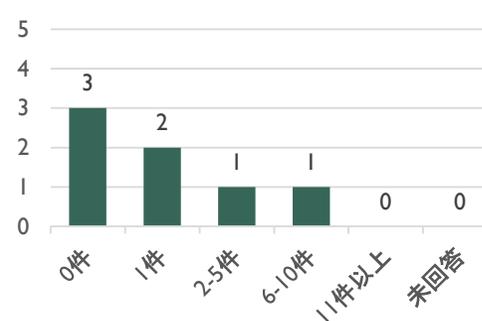
教職員等 講演会

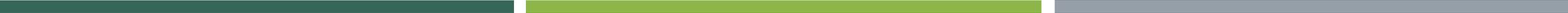


教職員等 研修



教職員等 研修





4. 情報提供体制

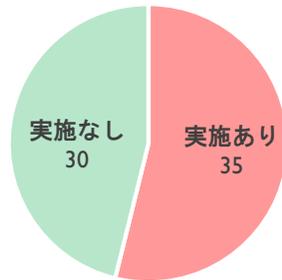
現在の状況



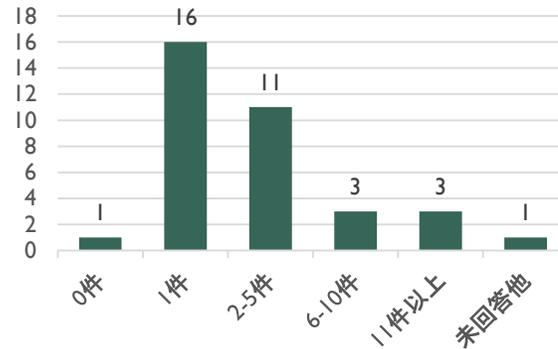
4. 情報提供体制

- ア. 患者やその家族に対するアレルギーに関する講習会等の定期的な実施をしているか？
- イ. アレルギーに関する相談事業・対応（電話・メール・対面・その他）をしているか？
- ウ. 病院ホームページ等でのアレルギーに関する情報提供・広報活動はしているか？

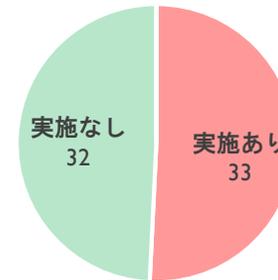
患者家族への講習会



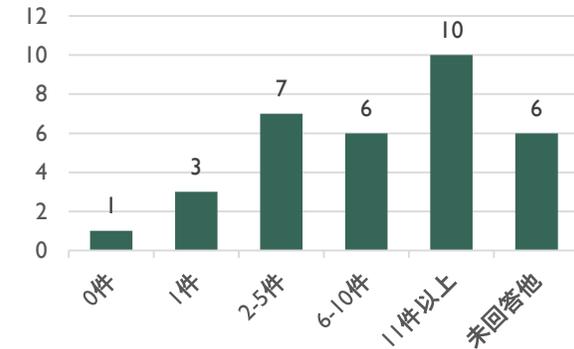
患者家族への講習会



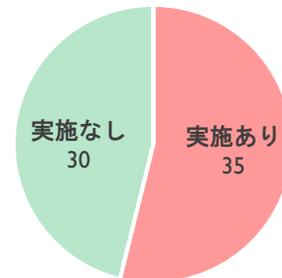
相談事業



相談事業



HPでの情報提供





5. 臨床研究及び調査研究

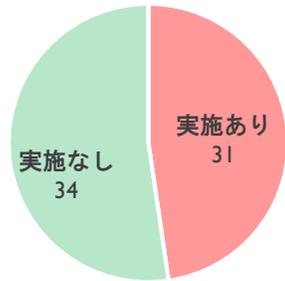
現在の状況



5. 臨床研究及び調査研究

- ア. 都道府県におけるアレルギー疾患の実情を継続的に把握するための調査・分析を実施しているか？
イ. 臨床研究及び調査研究に対して都道府県からの予算が配分されているか？
ウ. 国が長期的かつ戦略的に推進するアレルギー疾患の大規模な疫学調査（厚生労働科学研究）に協力できるか？
エ. 臨床研究法に則った体制を整備して、アレルギー疾患に関わる臨床研究を実施しているか？

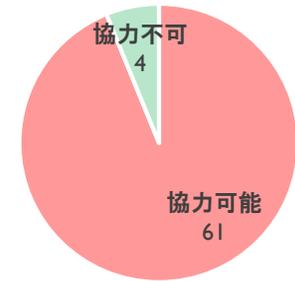
ア. 調査・分析



ア. 実施している場合：具体的な内容

- 地元住民を対象とした疫学調査
- 症例数、紹介先の有無、生物学的製剤使用状況、アナフィラキシー対応等の実態調査
- 宮城県と仙台市の食物アレルギー患者の実情
- アレルギー診療ができる医療機関の実態調査
- 東京都と共同で花粉実態調査
- 東京都の3歳児調査に協力している
- 生活管理指導表の取りまとめ
- 喘息症例のコントロール状況
- アレルギー性鼻炎の成人疫学コホート調査、アレルギー性鼻炎の1才半および3才の疫学コホート調査、アレルギー性鼻炎の小学生疫学コホート調査、アレルギー性鼻炎の高校生コホート調査、北陸3県における難治性アトピー性皮膚炎の実態調査など
- アンケート調査
- 小児アレルギー疾患診療状況調査
- 学校現場のアレルギー疾患に対する実態調査 令和元年度のみ
- 愛知県の拠点病院共同で研究を行っている（医療連携バスによるアレルギー診療の質・患者満足度向上に関する検討）
- 愛知県におけるアレルギー疾患の実態調査、医療連携バスによるアレルギー診療の質・患者満足度向上に関する検討
- 県内の花粉症の疾病負担の調査、乳幼児のアレルギーの実態調査
- スギ・ヒノキ花粉飛散数を20年以上測定している。
- 大学と共同研究で保育所における食物アレルギー実態調査を実施
- 自治体における乳児のアレルギー疾患調査
- 年2回県のアレルギー拠点病院会議で実施
- 和歌山県学校におけるアレルギー疾患対応委員会
- アレルギー疾患患者の外来入院患者数の動向調査、全国の眼科医を対象としたアレルギー性結膜疾患有病率調査、平成29年度鳥取県アレルギー疾患実態調査
- アレルギー疾患医療の実態調査、医療機関リスト化調査
- 県内におけるアレルギー疾患の問題点の調査を行った結果、食物アレルギー負荷試験実施可能施設の整備、学校生活管理指導表の記載方法の指導、アナフィラキシー時の搬送先の取り決めなどが課題であることが判明した。
- 歯科用金属アレルギー外来における患者の動態調査
- レセプトによる集計

ウ. 疫学調査への協力



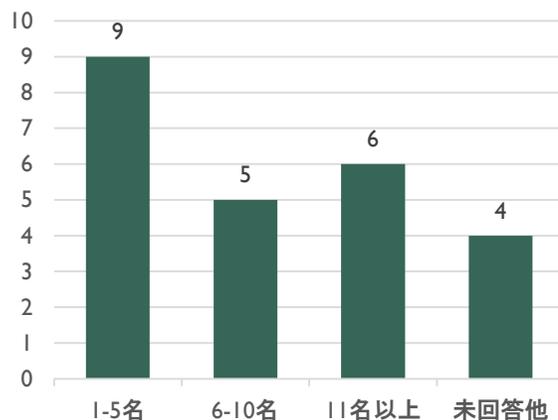
5. 臨床研究及び調査研究

オ. アレルギー疾患の研究に関わる臨床研究コーディネーター（CRC）を配置しているか？

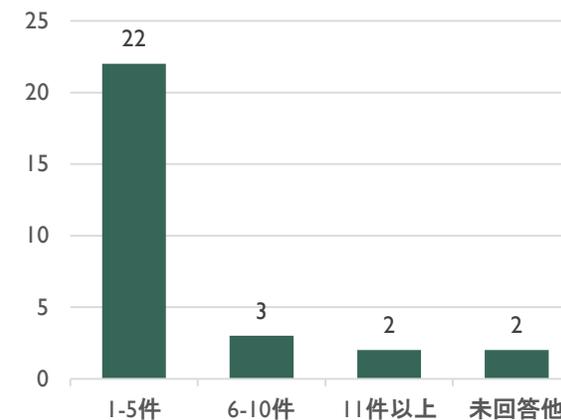
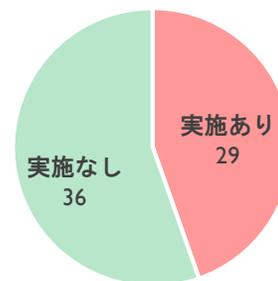
カ. アレルギー疾患に関する治験を実施しているか？（2021年4月以降の実績数）

キ. 倫理委員会の承認を受けたアレルギー疾患に関する臨床研究は何件か？（2021年4月以降の実績数）

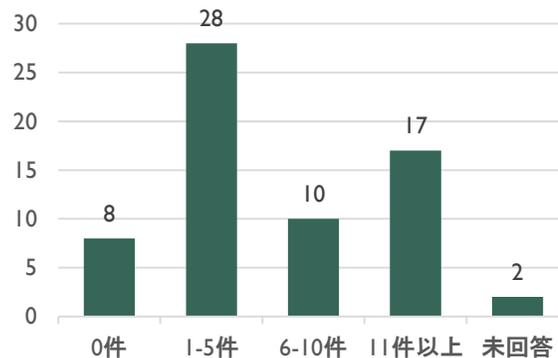
アレルギー疾患CRC配置



治験



倫理委員会承認件数





6. 行政との連携

2019年度～2021年度の状況

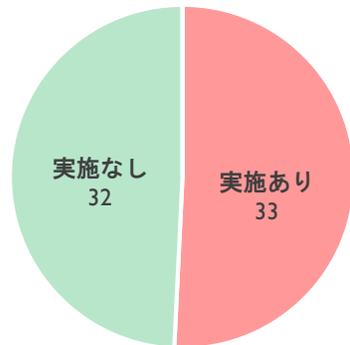


6. 行政との連携

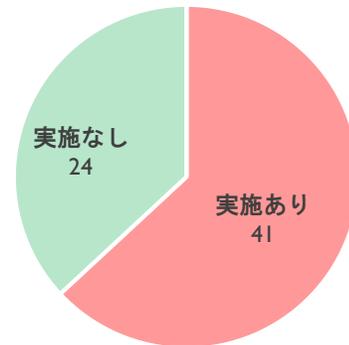
(2019年度～2021年度)

- ア. 都道府県と協力し、災害等に対する準備を行っているか？
- イ. 都道府県と協力し、地域住民に対してアレルギーに関する啓発活動を実施しているか？
- ウ. 都道府県の各地域における学校や児童福祉施設等（保育所を含む）が抱えるアレルギー疾患に関する諸問題に対して、市区町村の教育委員会や関係部局に対し、医学的見地からの助言をおこなっているか？
- エ. 各都道府県のアレルギー疾患医療の提供体制や現状について議論する都道府県アレルギー疾患医療連絡協議会を年1回以上開催しているか？

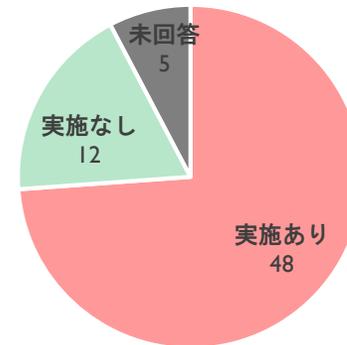
災害準備



地域住民への啓発活動



教育委員会等への助言



医療連絡協議会の開催

